



いいで町

163号

議会だより



いいで子ども大学サイエンス教室（山大 xEV飯豊研究センター会場）

9月議会(第8回定例会)

平成27年度各会計決算	……………	P 2～4
平成28年度各会計補正予算	……………	P 5
一般質問	……………	P 8～9
決算特別委員会	……………	P 10～13
各常任委員会	……………	P 14～15
議員研修報告・編集後記	……………	P 16

決算認定

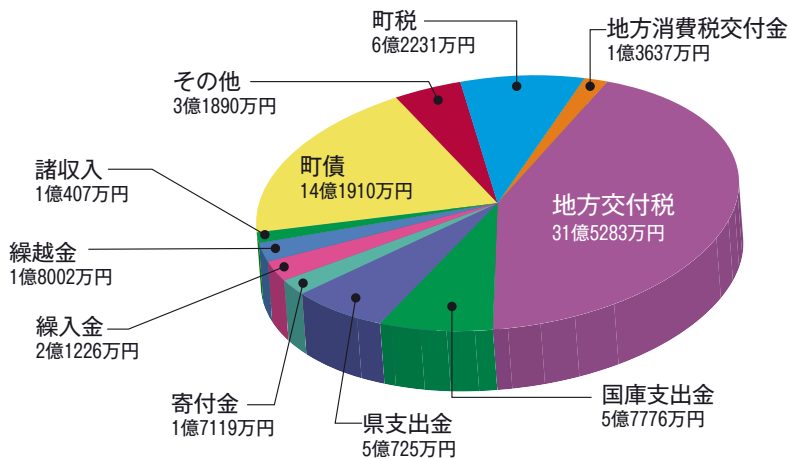
第8回 定例会

定例会の概要

第8回定例会が9月7日から16日まで10日間の会期で開催されました。27年度各会計決算、28年度補正予算、人事、その他の案件を審査し全て原案のとおり可決・認定しました。請願1件を審査し関係機関に意見書を提出しました。2人の議員が一般質問を行い、町政をただしました。

27年度一般会計決算では、歳入総額は74億206万円、そのうち町税は、全体の8.4%にあたる6億2231万円、歳出総額は70億4031万円となりました。

平成27年度一般会計歳入決算



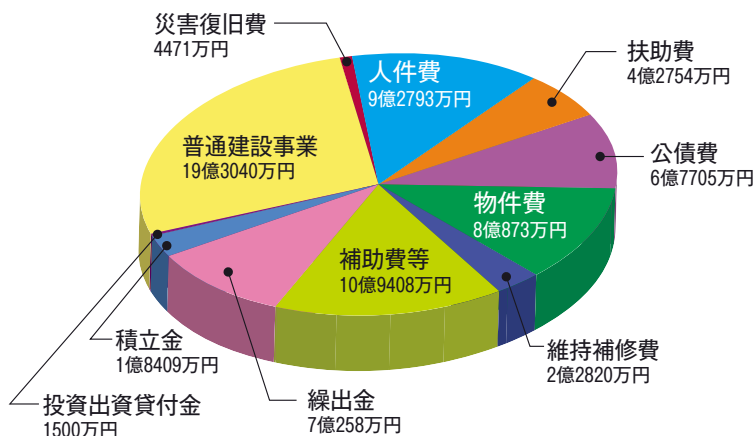
歳入総額 74億206万円

歳入その他内訳

(単位：万円)

地方贈与税	7494
利子割交付金	121
配当割交付金	220
株式譲渡所得割交付金	180
自動車取得税交付金	1331
地方特例交付金	261
交通安全対策特例交付金	152
分担金及び負担金	8404
使用料及び手数料	11562
財産収入	2165
合計	3億1890

平成27年度一般会計歳出決算



歳出総額 70億4031万円

基金の残高

(単位：万円)

平成17年	17億9327
平成18年	17億6564
平成19年	18億1649
平成20年	20億2167
平成21年	24億6003
平成22年	29億932
平成23年	29億3169
平成24年	30億9379
平成25年	32億4325
平成26年	30億4975
平成27年	31億7621

平成27年度

各会計

平成27年度主な決算

【歳入】

ふるさと納税 {寄付件数 11524件} 1億6873万円

【歳出】

空きや対策事業 459万円

幼児施設整備工事
{つばき、わくわくこども園(いいで中部、さゆり)} 2344万円

デマンド交通運営事業 1902万円

第一小学校建設費 5億2183万円

中水源送水施設実施設計委託業務 962万円

道路維持業務(除雪作業含)事業 3億3319万円

道路新設事業 1億1556万円

経営体育成事業 2093万円

中小企業振興事業費補助金 7760万円

プレミアム付商品発行事業 1260万円

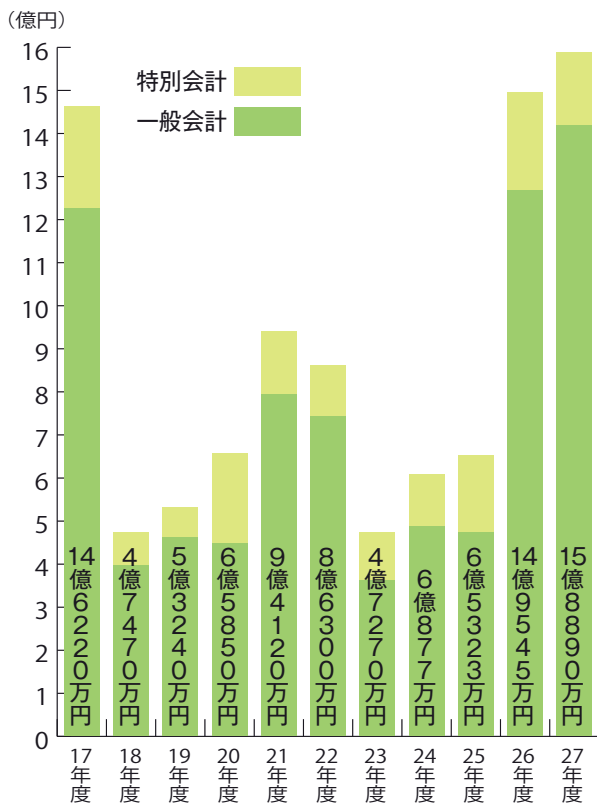
高円寺チャレンジショップ事業 371万円

住宅リフォーム支援事業 1500万円

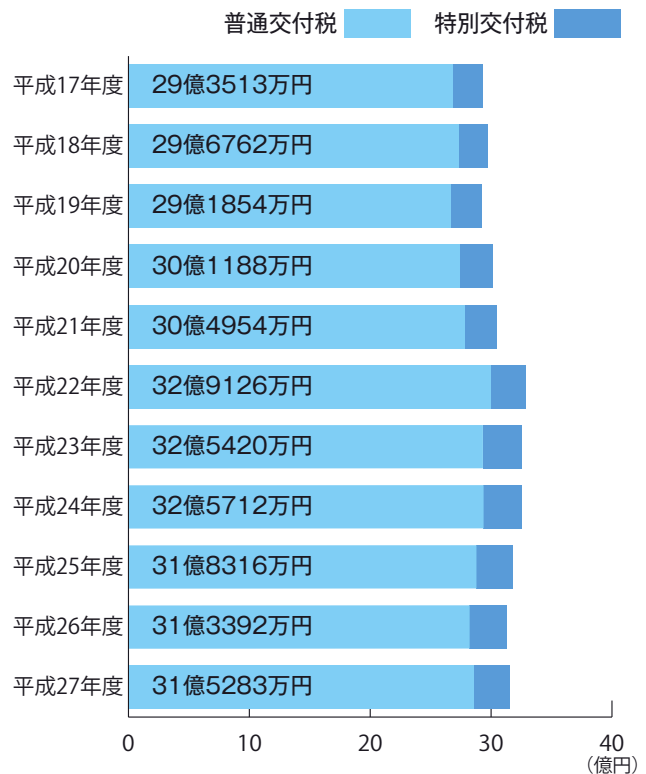


使いやすくなった幼児トイレ

町債(借入金の推移)



地方交付税の推移

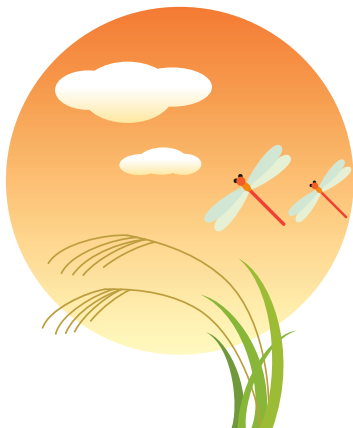


平成27年度

各会計決算

(単位：万円)

会計別		歳入決算額	歳出決算額	差引残額
一般会計		74億205	70億403	3億9802
国民健康保険	事業勘定	8億9541	8億4456	5085
	直診勘定	1億1913	1億1683	229
介護保険		11億464	10億6472	3992
後期高齢者医療		7666	7646	20
訪問介護		1727	1675	51
介護老人保健		3億421	3億397	24
物品調達		1789	1789	0
農業集落排水		6億3283	6億2785	499
生活排水個別処理事業		3643	3518	124
財産区	萩生	16	13	3
	豊原	17	17	0
	添川	632	600	32
	豊川	41	17	24
	中津川	379	354	25
水道事業	損益勘定	2億4538	1億8837	5701
	資本勘定	1億520	1億7784	△7264



中水源浄水場

平成28年度各会計補正予算

歳入 企業版ふるさと納税 600万円見込み**山大×EV飯豊
研究センター****解析研究棟実施設計へ**

平成28年度一般会計は歳入歳出それぞれ7113万円を追加し
74億1496万円としました。

◆ 一般会計

【歳入】

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
地方特例交付金	200	105	305	
地方交付税	27億8161	5338	28億3499	普通地方交付税
分担金及び負担金	1億382	△3329	7053	草地畜産整備事業分担金等
国庫支出金	6億5659	407	6億6066	東北観光復興対策交付金等
県支出金	5億4038	2409	5億6447	民生費、災害復旧費等
財産収入	3047	350	3397	町有地売り払い
寄付金	1億500	664	1億1164	企業版ふるさと納税等
繰入金	6億6945	1001	6億7946	介護保険会計繰入金
繰越金	1億3671	1476	1億5147	前年度繰越金
諸収入	8388	42	8430	雑入
町債	13億9720	△1350	13億8370	臨時財政対策債
補正されなかった款の額	8億3672	0	8億3672	
歳入合計	73億4383	7113	74億1496	

【歳出】

(単位：万円)

款	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
議会費	7813	33	7846	使用料、賃借料
総務費	8億6192	1147	8億7339	奨学金返済支援事業他
民生費	12億7653	900	12億8553	保育施設運営費他
衛生費	3億850	418	3億1268	国保直診勘定繰出金他
農林水産業費	10億6963	△2083	10億4880	畜産振興費負担金の減額
商工費	2億4723	1138	2億5861	解析研究棟実施設計他
土木費	7億6572	9	7億6581	住宅管理費他
消防費	2億4320	78	2億4398	ポンプ庫建築費の増額他
教育費	18億2287	1088	18億3375	調理場備品購入費他
災害復旧費	3754	4385	8139	豪雨災害の復旧事業他
補正されなかった款の額	6億3256	0	6億3256	
歳出合計	73億4383	7113	74億1496	

◆ 特別会計補正予算

(単位：万円)

会計名	補正前の額	補正額	計	補正の主なもの
国民健康保険(直診勘定)	1億5223	220	1億5443	修繕費、備品購入費
介護保険	11億1390	4422	11億5812	繰出金、償還金の増額
下水道事業	7億4495	2020	7億6515	農集排工事費の増額

急がれる中水源・ 手ノ子集落排水事業

請願

◆「福島原発事故避難者への住宅無償提供の継続」の意見書提出についての請願

審査の結果全員一致で採択され、国及び福島県に意見書を出しました。

人事

◆人権擁護委員の候補者の推薦

住所 大字黒沢966番地
氏名 手塚 淳子
原案のとおり全員一致で決定しました。

◆飯豊町教育委員会委員の再任の同意

住所 大字添川1419番地
氏名 井上 俊幸
原案のとおり全員一致で同意しました。

第6回 臨時会

7月7日、臨時会を開催し、工事請負契約2件を可決

◆平成28年度飯豊町水道事業中水源送水管布設工事(第一工区)

契約金額

1億3716万円

完成日

平成28年11月30日

契約の相手方

株式会社高橋工務店

◆平成28年度飯豊町水道事業中水源送水管布設工事(第二工区)

契約金額

1億4472万円

完成日

平成28年11月30日

契約の相手方

樋口・佐藤経常建設
共同企業体



水道事業中水源送水管布設工事現場 (第二工区)



水道事業中水源送水管布設工事現場 (第一工区)

第7回 臨時会

7月27日、臨時会を開催し、交通事故に係る損害賠償・平成28年度飯豊町一般会計補正予算（第四号）・工事請負契約を可決



◆歳入歳出予算に、住宅リフォーム支援事業費補助金など総額に409万円を追加し、総額を歳入歳出それぞれ73億4383万円としました。

損害賠償の決定

◆損害賠償の理由

平成28年4月23日、町内萩生地内にて公用車を運転中に発生した交通事故。

一般会計補正予算 （第四号）

工事請負契約の締結について

◆平成28年度手ノ子地区農業集落排水事業処理施設土木建築工事

契約金額

1億1988万円

完成日

平成29年2月28日

契約の相手方

豊川建設株式会社

◆平成28年度手ノ子地区農業集落排水事業管路工事（第二工区）

契約金額

7776万円

完成日

平成28年11月30日

契約の相手方

豊川建設株式会社

◆平成28年度手ノ子地区農業集落排水事業管路工事（第二工区）

契約金額

6534万円

完成日

平成28年11月30日

契約の相手方

樋口建設株式会社



一般質問

少子高齢化の 総合的な対応を



鈴木敏夫 議員

- 公会計制度の準備状況は
- 特別養護老人ホームについて
- 若者の定住に向けた取り組みは
- 中津川小中学校の利活用は

質問 公会計制度導入の準備状況は。

自治体職員向けの 研修参加

町長 平成27年度に固定資産台帳整備を実施するとともに、財務書類の活用も含めた自治体職員向けの研修に参加し、事業の準備を進めています。
今年度、地方公会計

システムを導入し、平成30年度中の平成29年度決算に係る財務書類等の作成及び公表に向けて取り組む予定です。

質問 特別養護老人ホームの待機者対策と介護職員（臨時）の待遇を改善する考えは。

町独自の 人材育成策を検討

町長 県と連携し、若者の地元定着や本町への回帰を目的とする「若者定着奨学金返還支援事業」を新たに創設します。もう一つは「飯豊町帰郷希望女子応援プロジェクト」です。一過性になることなく、本町の縁を強固

町長 「在宅介護支援事業」などを続け、利用者や介護者の状況に応じた支援をしていきます。また、健康増進や介護予防事業を推進し、元気な高齢者を増やすことが課題です。待遇改善策については、町独自の人材育成事業を検討します。

質問 若者の定住に向けた取り組みは。

今年度 新たな取り組みで

にしていく取り組みを進めていきます。

質問 閉校中の中津川小中学校の利活用は。

地域の活性化を 第一に

町長 全国の廃校利活用事例を参考としながら、「地域の活性化に貢献できる」という視点を第一に、地区と話し合いながら、検討していきます。

期待できる すばらしい未来



一般質問

世界が注目！蓄電デバイス産業が蓄積する まちづくり・地域再生計画認定される



遠藤 忠 議員

- 2期8年後藤町政のやり残した事は
- 山形大学×EVの企業誘致の進捗は
- 企業誘致トップセールスの活動状況は

質問 現在、世界は第4次産業革命に入り、AI・人工知能やあらゆるものをインターネットでつなぐIoT（インターネットオブシング）の時代だが、2期8年後藤町政のやり残した事は無いか。

町長 若者の結婚の機会づくりや、定住支援・住宅造成などが十分ではありませんでした。今後椿・添川・中萩生の住宅地の造成を考えています。

人口減少対策が十分でなかった

町長 若者の結婚の機会

現在2社を見込む

町長 大学側と連携し

て誘致をすすめ、誘致企業は現在2社を見込んでいます。

質問 企業誘致のトップセールス活動は。

45社に対して誘致活動

町長 山形大学のパートナー企業45社に対して、ピンポイント営業をしたり、環境や条件を整備を対応していきます。

質問 工場の誘致場所として、ライバル企業と同じ敷地内になるのか。

町長 山形大学、進出企業と打ち合わせしながら、町内の工業団地で検討します。

町内工業団地で対応

町長

町長 山形大学、進出企業と打ち合わせしながら、町内の工業団地で検討します。

質問 新潟・山形南部高規格道路整備と並行して、今泉地区に検討されている工業団地について、町内に多くの面積をとるべきでは。

町長 xEVの推進から本町の東部工業団地を拡充し、他市町とも連携して進めていきます。

隣接市町・県と連携で推進

町長 xEVの推進から本町の東部工業団地を拡充し、他市町とも連携して進めていきます。



リチウムイオンで走る電気自動車

用語の解説

※ IoT=インターネット オブ シング
世の中に存在する様々な物体・モノに通信機能をもたせ、相互に通信することにより、新しい事業やサービスを生み出すもの。

交付金で事業推進

◆ 総務文教所管分 ◆



決算特別委員長

長 沼 桂 子

平成27年度一般会計、特別会計13件及び水道事業会計合わせ15件の決算は、特別委員会を設置し9月14日に審査しました。
委員長に長沼桂子、副委員長に鈴木敏夫の両議員を選出し、いずれも原案のとおり認定すべきものとなりました。

一般会計

新地域再生事業の支援内容と効果は

高橋委員

新・地域再生マネージャー事業について。また、総務企画課の時間外だけが他課と比較して多いのはなぜか。

総務企画課長

少子高齢化が顕著である中津川地域の資源を活用して、収入を得る方策を見つけていく内容です。中津川むらづくり協議会と対話しながら、組織化に取り組んでいます。

総務企画課の時間外

使われているのか。

ふるさと納税の使途の内容は

遠藤委員

納税者の要望どおり

総務企画課長

寄附金の活用方法は「いい人をつくる」「魅力あふれるめぐみの里」「飯豊ブランド化」「いいでまちづくり推進」の各プロジェクトと「町長おまかせ」の5つに分かれています。

「町長おまかせ」がおおむね半分弱程度です。



地域再生マネージャーとの会議

質問と
答弁

平成27年度 決算特別委員会

地方創生加速化

ファミリーサポートセンターの
利用状況は

古山委員

運営費200万円とあるが、利用実績は。

教育総務課長

育児のお手伝い事業で、手伝いをしたい方、していただきたい方が、相互に助け合いながら、地域の中で子育て支援する事業です。27年度末で、会員数88人、247人の方が利用しています。

町内業者育成は

嶋貴委員

工事入札は、ランクをつけて発注すべきです。町外業者を入札指名しているが、町内の業者だけにすべきです。

副町長

入札は、公平・公正な指名をしていきたいと考えています。町内の業者だけでなく、競争にならない場合もありますので、能力を総合的に判断して発注しています。また、業者間でJ・Vを事前に組み合わせる方法もあると思います。

コンビニ収納の
効果は

古山委員

コンビニ収納の件数と収納額並びにその効果は。

住民税務課長

住民税務課所管分の地方税と後期高齢者医療の保険料の調査では、平成27年度2031件で全体の14・2%であり、年々利用率が高くなっている状況です。

す。地方税全体の公金の収納率に、どの程度反映されているか検証が困難ですが、大幅に収納率アップされている状況です。

補助費増加の
内容と効果は

嶋貴委員

補助費が27年度1億9940万円、歳出全体の15・6%です。この補助の主な内訳は。

総務企画課長

補助費等は、負担金、補助金及び報償費等が入ります。ふるさと納税としての報償費、多面的機能支払交付金で1億3600万円です。経営体育成支援事業や地方創生先行型交付金など入っており、増加傾向にあります。



多面的機能支払交付金で活動

くりのために

◆ 産業厚生所管分 ◆

一般会計

中小企業振興補助金について

嶋貫委員

3年目となるが経済的波及効果と雇用効果は。また、補助事業数は。

産業活性化担当課長

常時雇用の実績は122人、うち町内者は45人です。雇用の拡大が事業の目的であり49事業所が補助対象となりました。

林業総務費の内訳は

嶋貫委員

伐採費720万円、加工費に1700万円支出されている。実際

に第一小学校に使用された材木数は。

農林振興課長

第一小改築に伴う木材は、萩生財産区から切り出され伐採量は、丸太ベースで989m³で、使用製品は125m³です。

農業費補助金の充当先は

古山委員

農業事業費の内、町単独事業は。

農林振興課長

補助事業は、有機センターの肥料散布補助、放射線検査、耕畜連携による稲わら資源事業、素牛導入事業、

産学共同研究共同事業補助金の先と効果は

古山委員

山形大学研究所への支出額と、事業の内容、効果について。

商工観光課長

事業契約は山形大学補助金で1000万円の支出、内容はセパレータの簡易検査装置を町内事業者と試作機2台を製作しました。

障がい者自立支援事業 扶助費の内容は

高橋委員

医療給付支援者数は何人か。また、内容は。

健康福祉課長
自立支援者数は平成28年現在で441人、重度の方が152人、その他289人です。
自立支援医療の更正医療分、人工透析、人工関節置換術等に支出し、扶助にかかる障がい者の方も多数おられます。



第一小に使用された町内産木材

平成27年度 決算特別委員会

すみよい町づ

質問と
答弁

除雪作業

委託料の対応

高橋委員

暖冬で稼働が少なく待機時間が多かった。待機料を毎月精算できないのか。また、地域支え合い除雪事業で、高齢者宅の除雪実績と実態は。

地域整備課長

昨年度は、非常に浅雪で28台稼働中23台に待機料が発生しました。待機料は、150時間に設定し、昨年度は154時間で、待機料は604万5000円でした。待機料は、年度末に支払いとなります。地域支え合い事業は、高齢者世帯が76戸、身体的障がい世帯が6戸、全体で82戸です。

プレミアム商品券の増販の状況は

遠藤委員

子育て支援者への販売数は。また、子育てに利用されているのか。

商工観光課長

子育て支援世帯の購入は286世帯で、販売総額6000万円の内1716万円です。

産業活性化担当課長

商品券の利用状況は、ガソリン・灯油等の購入が43%、食料品・日用品などが35%です。子育ての利用状況は、家族数も多いと予想され、食料品や日用品、送迎車の燃料費などに利用されていると思います。

特別会計

上水道の年間有効水量は

古山委員

有効水量と有収数量の差が大きい理由は。給水原価が上がっているが水道料金に反映しないのか。

地域整備課長

料金の対象になる水



中水源設備

量が有効水量となり、火災時の消火栓の水、漏水、洗管作業時の水などが無収水量となり、有効水量と有収量の差となっています。昨年度より3・7%減となり、給水人口減少によるものと推測しています。料金アップについては、大平の豪雨災害により水道管の復旧費や湧水の湧水により長井市より給水を受けたことなどによる経常費用増が理由です。今後管理経費を抑えながら経営を行ってまいります。

介護保険27年度の計画と決算の対比は

嶋貫委員

介護保険料、財政安定化基金に約1130万円を償還し、給付費準備積立金に1156万円などを積み、歳入歳出差引で3991万円の残となっている。その理由は。

健康福祉課長

第6期計画の中で計画と歳出額を対比してみますと、7000万円ほど計画より支出が少なかったことにより1500万円の余剰金となり準備基金積み立てとなります。

萩生城址の跡地はどうなるの



総務文教常任委員会

各課からの 報告

総務企画課

◆平成28年度飯豊町総合防災訓練を10月9日8時より町民総合センターあすにて開催しました。

住民税務課

◆9月10日小型家電を17人70点回収しました。白物家電の回収方法は有料で回収する方向で今後検討します。

質問と答弁

長沼委員 エルベのハーブ園の管理は。

商工観光課長 エルベと話し合いを行います。

井上委員 第一小学校改築で町内産の木材利用状況は。

教育総務課長 町内産材木は125㎡です。

鈴木委員 萩生城址の調査スケジュールは。

社会教育課長 国の補助で、3年をかけ、外溝、二の丸、本丸を調査します。

町長 全体像を見て城跡の整備を行い、東屋風の憩いの場を検討していきます。



歴史を辿る萩生城跡

後藤委員 高齢者への家電回収対策は。

住民税務課長 大型ゴミなどを搬出できない高齢者等に対して回収作業の体制を整備していきます。

後藤委員 携帯電話各社が700Mヘルツの電波を使用すると、家庭のテレビに電波障害が発生する可能性が考えられるが。

土地開発公社理事長 各地区の要望を聞きながら推進してきました。ニーズを調査し今後検討します。

情報防災室長 町内2000件の世帯で障害予測中です。携帯各社が無償で対応する旨の説明を受けました。

遠藤委員 定住対策として、各地の住宅団地計画は。

土地開発公社理事長 東部地区は豆腐工房東側を造成計画にしています。椿地区は分校跡地、萩生、中地区でも検討しています。

長沼委員 大規模な住宅団地をつくり、人口増を目指しては。

来年度から、中水源より取水



産業厚生常任委員会

各課からの報告

農林振興課

◆ 水稲作柄は、8月15日現在平年並みです。
 ◆ 秋の収穫祭を11月3日しらさぎ荘駐車場にて開催します。

定です。

◆ 住宅リフォーム支援事業は、(事業費1760万円、件数54件)9月12日で受付終了しました。

質問と答弁

菅野委員 原小屋、新山、原尻・新山、小山・中線の五叉路で毎回水が溢れ付近が水害になる。早期解決を。

高橋委員 住宅リフォーム事業が9月12日で終了した。以降の申込者数と、来年度の増額の考えは。

古山委員 山大×EV飯豊研究所の経済波及効果(山形県)が示された、本町は。

商工観光課

◆ 山形大学×EV飯豊研究所の経済波及効果は、山形県全体で29億7000万円です。

健康福祉課

◆ 民生委員児童委員の委嘱状を12月1日に伝達します。

◆ 温泉サロン等を利用していただき、介護認定率(平成26年4月、21.2% 県1位。平成28年4月、19.5% 県13位、県平均18.8%)です。

町長 平成29年度山地排水事業(福田川)の計画がありますので、解決に向け指示します。

嶋貴委員 緑のふるさと公社と飯豊産業開発公社の合併はどうなっているのか。統合すれば経営改善になるのか。

建設室長 申込者は、いません。5年平均で45件伸びています。半額が県の補助事業なので、見直すという情報もありませんが、県の対応次第です。

井上委員 林業は大切な資産、取り組みは。

町長 育てる林業、使う林業を循環させるため取り組んでいます。

地域整備課

◆ 中水源浄水整備工事は、8月末で76%の進捗率です。管路工事は今年度中に完成し、来年度からおいしい水を供給する予定です。

◆ 介護老人介護保険施設・国保診療所

◆ 超音波、血圧脈波検査装置を購入します。

商工観光課長 2つの公社は同じ事業なので、営業力の強化、管理の合理化ができません。統合するには、経営の方針・戦略が必要なので検討中です。



改修が待たれる五叉路

議員研修報告



倶知安町

25日は、曲がりくねった川の意味である倶知安町でインバンドについて研修をしてきました。国際リゾート地であり、社団法人化が進み、観光事業を一般社団法人が担っている町でした。

上ノ国町・倶知安町を視察

8月24日、25日の2日間北海道の2つの町を視察研修してきました。24日は、天の川が流れる町、上ノ国町で策定している公共施設等総合計画と財政運営の実現について研修しました。



上ノ国町



施設見学

研究センター吉武教授を招き、「xEV飯豊研究センターのこれから」と題して講演をいただき、飯豊電池バレー構想の展開などについての話を聴講しました。講演後、山形大学xEV飯豊研究センターの施設見学もあり、午後はスポーツ交流で汗をかき、意義ある議員交流会でした。

10月7日、飯豊町中部地区農村活性化センターを会場に、置賜5町議会交流会が開催されました。



講演

5町交流会

編集後記

収穫時期をむかえて秋の長雨にみまわれ刈取り作業が大幅に遅れた豊穰の秋になりました。夏は大型の台風による災害と、天候不順により多発する災害、これ以上災害が起きない様祈るばかりです。第8回9月定例会は決算など全議案、議論を重ね認定しました。今後とも町民の皆様には議会活動を理解していただくために広報づくりに努めていきます。(高橋記)

発行責任者

議長 後藤恵一郎

委員長 嶋貫 栄助

副委員長 高橋 亨一

委員 後藤恵一郎

委員 鈴木 敏夫

委員 古山 繁巳

委員 遠藤 忠